

【第3回釜石市中学校部活動地域移行推進協議会】

(1) 説明

◇令和6年度地域移行の先行実施についての提案

- ①合同部活動について
- ②先行実施について
- ③自校に部活動がなくても他校の活動に参加することを認めることについて
- ④文化部の受け皿について

(2) 協議（主な意見を整理したもの）

≪①について≫

- ・保護者の送迎については、どのような形で補助できるのかを、今後、検討し予算化していく。
- ・部活動指導員については、今後、各校や団体から情報を得ながら、いつからどのように配置できるのかを考えていく。
- ・練習会の持ち方、時期については、学校の要望もあるので、当該校と話し合っていく。種目によってもニーズも違ってくる。来年、部員が確定したら、顧問の先生と協議していく。

≪②について≫

- ・県としては、中総体だけではなく、新人戦も地域クラブから出場できる方向で検討している。今後、会議で提案されるはず。中文連についても動向を注視していく。
- ・柔道、水泳については、協会と協議している。しかし、人的なところで不足しているのも現状。当面は、学校の特設部の協力を得なければならないかもしれない。

≪③について≫

- ・剣道については、複数の団体に所属している子たちがいる。それぞれの団体との協議を今後、行っていかなければならない。
- ・今回、バスケットボールについては男子も入れた。スポ少でやっていて、中学校にない場合、継続したいというニーズに対応するため。
- ・地域移行になれば、参加したいところに参加できる。いきなりは難しいので、少しでも地域移行にいけるように、土日を実施する方向で。何年度から完全に地域移行にするというのは、今は見通しがもてないが、推進期間である5・6・7年度のところで目途に進めていく。
- ・完全に移行する間の子どもたちがやりたい種目をやれるようにという配慮、過渡期にある子どもたちへの配慮が必要。
- ・新入生からという提案だが、門戸は開いた方がいいと思う。2、3年生も対象にした方がいい。

- ・子どもたちがやりたい種目をやらせたい。ただ、学校またいでやるときに、中学校遅いので、平日は送迎しているうちに終わることも踏まえて、それでもやりたいという形での参加になる。期末面談や午前授業とか、長期休業中、おそらく、そういうところでの参加。大会前の延長期間。毎日難しいが、そういうときに参加したいというのであれば、生徒、保護者のニーズにこたえていくということになると思う。
- ・保護者への周知を図っていく。小学校だけではなく、中学校にも周知していく。文書だけではなく、ホームページ、二次元コード等を使っていく。
- ・保護者もいろんな捉え方がある。地域移行について、保護者にあらゆる機会に説明し、納得してもらわないと、後になって、違うとなる。そんなの聞いていなかった。説明なかったと後で来る。あらゆる機会に説明しないと。

《④について》

- ・子どもたちが毎週やりたいのかというと、総合文化部は、土日、活動していない。そういう子に無理やり出てこいは筋違いかと思っている。土日に何かやりたい、三味線とか、月1回やっているよというのは整えていく必要があると考えている。
- ・大会参加がネックになっていると思っている。文化部については、吹奏楽はそれなりのしぼりはあるが、それ以外は自己研鑽というか、やりたいという受け皿があるのであれば、情報提供していきたい。
- ・今やっている部活動が地域の中で日常的に行われる。絵画教室とかも、子どもたちが日曜日とかにできる。毎週でなければ、可能になってくる。自然に地域の中で子どもたちが活動できる。自分でやりたいことができる。
- ・eスポーツ、PC使った作業、興味持っている子も多いので、やりたいことをやるっていう。郷土芸能好きな子もいるので、それが子どもたちにとっての地域移行という形なのかなと思う。

《その他》

- ・「中学校部活動の地域移行の推進について(案)」は図があった方がいい。保護者も読みやすいように、概略版を作った方がいい。